

提出第 3 号

株式会社くみはま縣の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定により、株式会社くみはま縣の経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和 4 年 9 月 1 日提出

京丹後市長 中 山 泰

令和3年度
事業報告書

株式会社 くみはま縣

総括的概要

株式会社くみはま縣の令和3年度（第23期）収支状況は、売上金額は前年度比の86.4%にあたる109,718,713円（前年度は126,947,215円）と前年度に引き続きコロナ禍の影響を受け減少傾向にあるものの、補助金等による雑収入7,219,348円を含めると経常利益は前年度同様の黒字となっており、前年度比の141.1%にあたる3,851,690円の黒字計上（前年度は2,729,243円）となりました。

主な要因としては、新型コロナウイルスの流行とそれに伴う国の緊急事態宣言の発令を受け、当施設においても令和3年4月25日から同年5月31日までの37日間、さらに同年8月27日から9月17日までの22日間にわたり全館臨時休業の対応を行うこととなりました。

さらにレストラン部門については、令和3年8月20日から同年9月12日までの24日間、さらに同年9月18日から30日までの13日間について休業対応を行い、以降も時間短縮営業を余儀なくされたことが売上げの確保に大きな影響を及ぼしました。

一方で、新型コロナウイルスの対策については、昨年度に引き続き国・府・市レベルでの対応策が講じられ、これらの事業を積極的に活用することで最終的に黒字計上を果たすことができました。

施設利用者数につきましては、「道の駅」としての魅力発信、定期的なイベント開催による地元や遠方の顧客の呼び込みに加え、新聞折り込み、インターネットを中心にした広報活動、新たに開始したインスタグラムでのPRを行うなどし、交流販売拠点施設として、生産者・従業員・スタッフ一同が連携しての営業を展開してきました。

しかしながら、令和3年度においては前年度比の84.7%に当たる106,319人（前年度は125,487人）と新型コロナウイルスの影響から利用者は減少しています。

主な要因としては、「くみはま SANKAIKAN 22周年祭」（10月）は開催ができたものの、「道の駅10周年祭」（6月）は規模縮小を余儀なくされたこと、さらに「くみはま SANKAIKAN イベント」の毎月開催ができなかったことが影響したものとと思われます。

施設内において安心安全な地元農作物を直販する「菜○野果市」については、休業期間中は開催できなかったものの、9月以降は堅調な状況であり、地域経済を大切にしながら地域振興を目指す弊社の活動は、観光客を始めとする交流人口の増加や地元産の農林水産物の販売促進につながっており、地域活性化の回復に向け着実に前進しているものと考えます。

くみはま SANKAIKAN

令和3年度月別事業報告書

●4月

- ・4月22日～ 春の野菜苗販売、25日より緊急事態宣言発令の為に中止
- ・4月25日～ 緊急事態宣言発令の為に、全館休業(5月31日まで)

●5月

緊急事態宣言発令の為に、5月31日まで全館臨時休業。

●6月

- ・6月1日～ 「ゆめろんファーム」のメロン販売
- ・6月18日～ 久美浜特産砂丘スイカ「砂丘のたまご」販売
- ・6月19日～ 「マサノブメロン」販売
- ・6月23日～ 久美浜特産砂丘メロン販売開始
- ・6月25日～ メロン狩り開始
- ・6月26日～ 桃販売開始
- ・6月27日 特売日(イベント中止の為に、一日のみの特売日開催)

●7月

- ・7月18日 特売日(イベント中止の為に、一日のみの特売日開催)
- ・7月31日～ 浜詰さつまいも販売開始

●8月

- ・8月9日～ ぶどう販売開始
- ・8月11日～ 菜園野果市盆花販売
- ・8月20日～ 梨販売開始
- レストラン休業
- ・8月23日～ ぶどう狩り開始
- ・8月27日～ 緊急事態宣言発令の為に、全館臨時休業(9月17日まで)

●9月

- ・9月18日～ 売店営業再開
- ・9月21日～ 久美浜産新米販売開始

●10月

- ・10月1日～ 全館営業再開
- ・10月30・31日 イベント「22周年祭」開催

● 11月

- ・ 11月2日～ 久美浜産砂丘甘藷販売
- ・ 11月6日～ かに販売
「かにすきセット」通信販売開始
- ・ 11月27・28日 イベント「あったかほんわかまつり」開催
「キッチンカー」来店

● 12月

- ・ 12月10日～ 正月用白餅予約受付
- ・ 12月25・26日 イベント「師走祭」開催
- ・ 12月26日～ 正月用白餅予約受渡し開始

● 1月

- ・ 1月20日～ 節分巻き寿司・白餅予約販売

● 2月

- ・ 2月3日 節分巻き寿司・白餅販売

● 3月

決 算 報 告 書

第 23 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

株式会社 くみはま縣

京丹後市久美浜町浦明1709

貸 借 対 照 表

(単位：円)

株式会社 くみはま縣

令和 4年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 12,315,173】	【流 動 負 債】	【 2,945,304】
現金及び預金	11,322,508	買 掛 金	1,611,081
売 掛 金	827,491	未 払 金	306,100
商 品	45,954	未 払 費 用	192,713
未 収 入 金	110,500	預 り 金	19,010
前 払 費 用	8,720	未 払 法 人 税 等	816,400
【固 定 資 産】	【 1,439,886】	負 債 の 部 計	2,945,304
(有形固定資産)	(1,292,686)	純 資 産 の 部	
建 物	4,624	【株 主 資 本】	【 10,809,755】
車 両 運 搬 具	1	[資 本 金]	[20,000,000]
什 器 備 品	1,022,081	[利 益 剰 余 金]	[Δ9,190,245]
一括償却資産	265,980	(その他利益剰余金)	(Δ9,190,245)
(無形固定資産)	(147,200)	繰越利益剰余金	Δ9,190,245
電 話 加 入 権	147,200	(うち当期純利益)	(3,851,690)
		純 資 産 の 部 計	10,809,755
資 産 の 部 計	13,755,059	負 債・純 資 産 の 部 計	13,755,059

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 くみはま縣

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	109,718,713	109,718,713
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	41,785	
仕 入 高	88,292,495	
合 計	88,334,280	
期末商品棚卸高	45,954	88,288,326
売 上 総 利 益		21,430,387
【販売費及び一般管理費】		23,452,010
営 業 損 失		2,021,623
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	238	
雑 収 入	7,219,110	7,219,348
経 常 利 益		5,197,725
税引前当期純利益		5,197,725
法人税等充当額		1,346,035
当 期 純 利 益		3,851,690

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 くみはま縣

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	
給 料 手 当	5,312,741	
法 定 福 利 費	841,480	
福 利 厚 生 費	50,122	
広 告 宣 伝 費	2,887,950	
荷造運賃手数料	1,381,191	
支 払 手 数 料	2,698,889	
運営協力負担金	2,400,000	
賦 課 負 担 金	145,600	
接 待 交 際 費	50,000	
通 信 費	485,053	
消 耗 品 費	1,070,908	
租 税 公 課	36,785	
減 価 償 却 費	631,570	
賃 借 料	361,716	
修 繕 費	96,095	
水 道 光 熱 費	3,873,726	
保 險 料	101,790	
衛 生 費	581,793	
雑 費	444,601	
合 計		23,452,010

株主資本等変動計算書

株式会社 くみはま縣

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

	株 主 資 本					
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		自 己 株 式
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	
当期首残高	20,000,000				Δ13,041,935	
当期変動額						
当期純利益					3,851,690	
当期変動額合計					3,851,690	
当期末残高	20,000,000				Δ9,190,245	

	株 主 資 本	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	株 主 資 本 合 計			
当期首残高	6,958,065			6,958,065
当期変動額				
当期純利益	3,851,690			3,851,690
当期変動額合計	3,851,690			3,851,690
当期末残高	10,809,755			10,809,755

株主資本等変動計算書（内訳）

株式会社 くみはま縣

（単位：円）

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	Δ13,041,935	Δ13,041,935
当期変動額		
当期純利益	3,851,690	3,851,690
当期変動額合計	3,851,690	3,851,690
当期末残高	Δ9,190,245	Δ9,190,245

個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 くみはま縣

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品……………最終仕入原価法による低価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定額法

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

12,859,191 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

当事業年度末日における発行済株式の数

200株

監 査 報 告

私監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの
第23期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記
表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを
認めます。

令和4年5月19日

監 査 役	奥 垣	由 美 子	
同	河 田	透	

報 告 書

前記のとおりご報告申し上げます。

令和4年5月19日

株式会社 くみはま縣

代表取締役	増 馬	孝 之
同	沖 田	繁 子
取 締 役	野 村	拓 也

令和4年度方針

わが国の景気は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響、さらにウクライナ情勢等による資源価格上昇の影響により中長期的に不確実な状況が続くと考えられますが、一方で、ワクチン接種の広まりや、政府の経済政策の効果に支えられ、経済活動の再開、インバウンド需要の回復に至る見込みも見え始めており、景気回復へ期待感が高まっています。

そのような状況下において、私たちが先頭に立って地域経済活動を守り抜き、景気回復へ向かうのだとの認識に立ち、くみはまSANKAIKAN（久美浜総合交流販売施設）の指定管理者として引き続き施設の運営管理を行い、地域特産物の生産・販売を通じて地域の農林水産業の発展に貢献し、消費者から信頼される施設作りに努めていくことが一層重要であると考えます。

令和4年度においては、新型コロナウイルスの流行状況をみながらではありますが、昨年度に引き続き、スタンプラリーなどの「道の駅」登録施設であるメリットを最大限活かす取り組みや「京丹後フルーツトレイル」を行うとともに、地域内外からの新たな集客による相乗効果をつかむため魅力ある情報発信を進めていきます。

さらに、「くみはま SANKAIKAN オープン23周年祭」、「道の駅11周年祭」等のイベント開催、久美浜まるかじりまつりへの出店など、PR・交流活動にも、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

販売面では、インターネットを活用したPR方法やオリジナル商品の開発、ECサイトでの販売力強化が昨年に引き続き重要であり、年間を通じた農産物の安定した品ぞろえをはじめ、これまでの継続的課題の改善と発展に努め、ウィズコロナ時代における安定経営を目指し取り組みを進めたいと考えます。

また、集客の中心的な柱と考えている「菜○野果市」の運営については、これまで以上に菜○野果倶楽部との緊密な連携を継続して端境期を無くすとともに、年間を通して魅力的な売り場づくりを目指します。

具体的な事業計画

収支計画については、今後の業績により赤字を回避することが実現可能であるとの前向きな考えに立って計画を作成しています。また、事業実施にあたっては常に支出経費の抑制に努めるなど、収支改善を検討・実行していくこととします。

具体的な事業計画については、下記のとおりです。

- ① 「菜○野果市」の納入者に対してインターネットによるリアルタイムな売上状況を発信します。
- ② 毎月、オリジナルのイベントを開催します。
- ③ くみはま SANKAIKAN オープン23周年祭、道の駅11周年祭イベントを開催します。
- ④ 市内の各イベントに積極的に参加します。
- ⑤ 地域特産品の開発・商品化に取組みます。
- ⑥ 旅館等の観光業者との連携を強化していきます。（ポイントカード発行など）
- ⑦ 市内観光業者との連携を図ります。
- ⑧ 他の道の駅との連携を強化していきます。（スタンプラリーなど）
- ⑨ より一層、SNSやホームページでのPRの充実を図ります。

令和 4年度 収支計画

科目		第23期 実績	第24期 収支計画
		令和4年3月31日	令和5年3月31日
[売上高]		109,718,713	130,000,000
[売上原価]		88,288,326	104,045,954
	期首商品棚卸高	41,785	45,954
	商品仕入高	88,292,495	104,000,000
	期末商品棚卸高	45,954	
営業総利益		21,430,387	25,954,046
人件費	役員報酬	0	
	給与手当	5,312,741	5,500,000
	法定福利費	841,480	900,000
	厚生費	50,122	100,000
	運営協力負担金	2,400,000	2,400,000
	人件費計	8,604,343	8,900,000
販売費及び一般管理費	支払手数料	2,698,889	3,000,000
	荷造運賃	1,381,191	1,500,000
	接待交際費	50,000	100,000
	広告宣伝費	2,887,950	4,000,000
	通信費	485,053	500,000
	事務消耗品費	1,070,908	1,500,000
	租税公課	36,785	100,000
	賦課負担金	145,600	200,000
	修繕費	96,095	500,000
	保険料	101,790	150,000
	水道光熱費	3,873,726	4,500,000
	賃借料	361,716	400,000
	衛生費	581,793	1,000,000
	減価償却費	631,570	450,000
	雑費	444,601	500,000
	販売費及び一般管理費 計	14,847,667	18,400,000
人件費・販売費・管理費 合計		23,452,010	27,300,000
営業利益		-2,021,623	-1,345,954
営業外収益		7,219,348	2,401,000
	受取利息	238	
	雑収入	7,219,110	2,401,000
経常利益		5,197,725	1,055,046